

船舶事故等調査報告書

平成22年10月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第89号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年5月20日 08時50分ごろ	
発生場所	岡山県倉敷市水島港南方沖 水島港玉島防波堤灯台から真方位182° 2.3海里付近 (概位 北緯34°27.5′ 東経133°39.7′)	
事故等調査の経過	平成22年6月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 <sup>にちりん</sup>日麟丸、499トン 140996、大泊海運有限会社</p> <p>B 油送船 <sup>せいりん</sup>盛運丸、88トン 130999、福山ポートサービス株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、五級海技士（航海）</p> <p>B 船長、六級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 右舷船尾ハンドレールの曲損</p> <p>B 左舷船首ブルワークの曲損</p>	
事故等の経過	霧により視界が制限された水島港南方沖において、A船は、船長Aほか4人が乗り組み、コークス約1,300トンを積載して錨泊中、B船は、船長Bほか1人が乗り組み、空船で積荷バースに向け北進中、平成22年5月20日08時50分ごろ、A船の右舷船尾部とB船の左舷船首部とが衝突した。	
気象・海象	<p>気象：天気 霧、風 なし、視程 約100～200m</p> <p>海象：波高 平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>あり</p> <p>A船は、水島港南方沖で錨泊中、錨泊当直中の船長Aが、霧中信号を行わなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、水島港に向けて北進中、船長Bが、レーダーによる適切な見張りを行わなかったため、錨泊中のA船に気付かなかったものと考えられる。</p>
原因	本事故は、霧により視界が制限された水島港南方沖において、A船が錨泊中、B船が北進中、船長Bが、レーダーによる適切な見張りを行わなかったため、A船に気付かず、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	